

SDGs活動 名称	部活動の地域移行に伴う「観光部」発足事業
概要	部活動の地域移行に伴い、市内中学生を対象とした「観光部」を発足し、観光に関する講話・観光地視察・自然アクティビティ体験など、様々な活動を通して観光に対する学びと地域愛の造成を目的としています。

SDGsとの関係

経済側面	働きがいも 経済成長も	産業と技術革新の 基盤をつくろう	人や国の 不平等をなくそう	つくる責任 つかう責任
	— 	○ 	— 	— 
社会側面	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に 健康と福祉を	質の高い教育を みんなに
	— 	— 	— 	○ 
	ジェンダー平等を 実現しよう	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	住み続けられる まちづくりを	平和と公正を 全ての人に
	— 	— 	○ 	— 
環境側面	安全な水とトイレを 世界中に	気候変動に 具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさも 守ろう
	— 	— 	○ 	○ 

産業、社会、環境の三側面との関係

産業	現在は富士市に定着していない新しい分野である「観光」の可能性について、次世代を担う人材育成によって産業基盤の底上げを図ることが期待できる。
社会	部活動の地域移行の流れの中、本取組は様々な分野を提供し、子供たちに様々な学びの選択肢を広げることを目的としている。令和7年度は「観光」を軸にし、これまでの部活動では得られない経験を与えることを目標としている。 実証成果により、「起業部」「AI部」「映像制作部」などへ拡大することも計画しており、これまでの部活動にはない体験を生徒に当たえ、経験格差を小さくし、より多くの生徒の可能性を引き出すことが期待できる。
環境	「観光」と「自然環境」は切っても切れない関係性があり、富士市が保有する富士山、海、川などは貴重かつ有望な観光資源であるが、この価値を維持し高めていくには、自然環境の保全が必要となることから、森林保全、環境保全への意識の高揚が期待できる。

F U J I 3 S プロジェクトエッグ 普及計画書 事業計画

事業計画

<p>SDGs活動 現状</p>	<p>少子化により部活動の選択肢が狭まり入らない生徒が増える恐れがあること、また親の収入による体験格差の拡大も危惧されています。このような中、市民、事業者が連携して「生徒が興味ある新しい部活動を選べる」ことを目的に企画しました。</p> <p>将来、様々な部活動を作るため、まず実証的にこれまで部活動になかった「観光」を軸とした文化サークルを立ち上げることとし、一般社団法人F-PRIDE（地域団体）を主体とし、交流観光課、富士市教育委員会等、多数ステークホルダーから合意を得ました。</p>
<p>プロジェクト 普及計画</p>	<p>8月中には市内の中学生に向けて情報発信し、参加者を募集します。</p> <p>9月から観光を座学で学び、市内の観光地取材、インバウンドとの交流、近隣のフィールドワークを通し、令和8年3月までに観光提言を作成しプレゼンを行います。</p> <p>修了した生徒には観光部証明書を発行し、活動したことを外部に示すことができますようにします。</p>
<p>プロジェクト 目標</p>	<p>参加者9名以上、活動日数8日を目指します。</p>
<p>プロジェクト 想定効果</p>	<p>富士市の観光の可能性を若い世代の視点から評価・提案し、市民へ浸透していく効果を期待します。</p> <p>また、「観光部」にとどまらず、「起業部」「A I部」「映像制作部」など、部活動地域移行の足掛かりになることを目指します。</p>

